

ほけんだより

令和4年10月14日
中村西中 保健室 臨時号

2学期は各地でコロナウイルス感染症が蔓延し、心配しながら学校をスタートしたことでした。陽性者等の急増から自宅待機期間の変更があったり、陽性者フォローアップセンターが開設されたり、めまぐるしく状況が変化しています。そんな厳しい状況乗り越え、高知県では警戒（オレンジ）から注意（黄色）にレベルが引き下げられました。日々変化する状況の中で、学校の対応も変わっていきます。今日、四万十市から出された文書とともに、この「ほけんだより」にて、今の状況を把握していただき協力をお願いしたいと思います。

【出席停止の取り扱いについて】

ポイント

レベル引き下げに伴い「同居家族に発熱等風邪の症状がみられる児童生徒の出席停止の取り扱い」が終了します。



これまでは同居家族等が濃厚接触者や発熱等の風邪症状がみられた時に、登校を控えていただき出席停止の扱いになっていましたが、これからは欠席になりますのでご注意ください。

生徒の発熱や咳等の症状がある場合については、引き続き状況に応じて出席停止扱いになります。そこで、保護者の方にお願ひがあります。学校に欠席連絡する場合は、季節風邪等と区別をするために、下記について申し出があった場合につきまして出席停止になりますのでお伝えください。

★コロナウイルス感染症が心配される場合

- 身近なところで感染者がいる場合
 - 感染者と接触があった場合
 - コロナウイルス感染症を疑い、簡易キット検査や病院を受診した場合
 - 県外（感染蔓延地域）等に行っていた場合
- などの心配があるため欠席する場合



※病院等でコロナウイルス感染症の陰性と判断されたり、別の診断がおりた時に、翌日以降も休んだ場合には出席停止ではなく欠席になります。また、陰性から陽性に転じた場合にはさかのぼって出席停止にします。

今後も地域や学校の感染状況を踏まえて、出席停止の取り扱いが変化していきますのでご確認ください。

みんなで感染予防行動を徹底し、コロナウイルスから守ろう！